

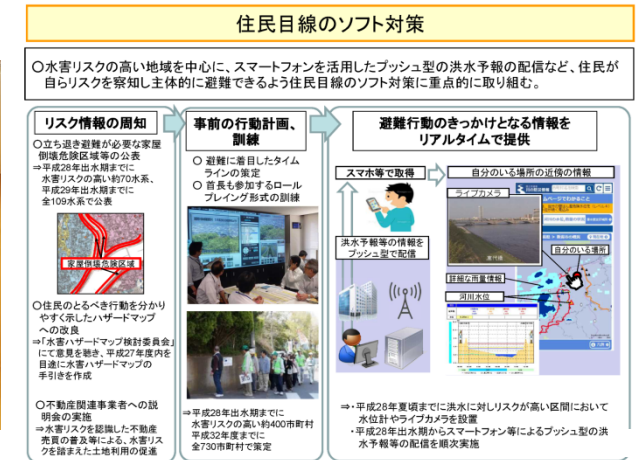
# 第1回 米代川大規模氾濫に関する減災対策協議会（平成28年4月25日開催）

## 1. 協議会設立の目的

平成27年9月の関東・東北豪雨等、近年の降雨の局地化・激甚化を踏まえ、全ての直轄河川とその沿川市町村が、「住民目線のソフト対策」を主とした水防災意識社会を再構築する取り組みを行う。  
〔構成機関：能代市、北秋田市、大館市、鹿角市、秋田県、秋田地方气象台、東北地方整備局〕

## 2. 実施状況

日時：平成28年4月25日  
会場：能代河川国道事務所 会議室  
出席委員：能代市長  
北秋田市長  
秋田県総務部危機管理監（代理：総合防災課副主幹）  
〃 建設部長（代理：河川砂防課長）  
〃 山本地域振興局長（代理：建設部長）  
〃 北秋田地域振興局長（代理：建設部長）  
〃 鹿角地域振興局長（代理：建設部次長）  
秋田地方气象台長  
能代河川国道事務所長 以上、9名



## 3. 議事概要

〇事務局から、協議会の目標と取り組み(案)に関して、「5年間で達成する目標」などが提案され、承認された。

### 【5年間で達成すべき目標】

米代川で発生しうる大規模洪水に対し『逃げ遅れない・備える・早期の回復』をすることにより、氾濫被害の最小化を目指す。

## 4. 首長の意見

### 【能代市長】

- ・今年度から実施する防災ステーションが、大規模氾濫時の防災機能の中心的な機能を果たすことを期待している。
- ・自主防災組織を立ち上げ防災意識の向上につなげるなど、ソフト対策をこれから充実させたい。

### 【北秋田市長】

- ・今回の協議会が立ち上がることで、きちんとした枠組み・構成ができる。
- ・平成19年洪水も徐々に住民の記憶から薄れ、更に高齢化が進んでいる。避難するための取り組みについて、今年度中に明確化したい。



能代市長



北秋田市長